

# 9月9日は救急の日です

あなたは大切な人の命を

守れますか？

そばにいる人の早い通報、  
 応急手当をはじめとして、救  
 急救命士による除細動（電気  
 ショック）、救命救急センター  
 などによる高度救命処置が途  
 切れることなくスムーズに行  
 われることが救命率の向上に  
 は欠かせません。これを「救  
 命の連鎖」といいます。（図1）

### 応急手当の重要性

なぜ、応急手当が重要な  
 のでしょうか。急いで救急車  
 呼んだ方がいいのでは？こ  
 こで、フランスの大学教授であ  
 るM・カーラーの救命曲線  
 をご紹介しましょう。（図2）

これは、ケガ人や急病人に  
 おける時間的要素の重要性を  
 指摘しているものであり、心  
 停止、呼吸停止、多量出血の  
 順に放置した場合の死亡率が  
 増加することを意味していま  
 す。

ここで先ほどの救急車を早  
 く呼んだ方がいいのでは？  
 というところに戻りましょう。

確かに、一刻も早く救急車を  
 呼ぶことは重要です。しかし、  
 救急車を呼んでから現場に到  
 着するまでには、全国平均で  
 約6分、松前町では約5分か  
 かります。これをカーラーの  
 救命曲線に当てはめると、  
 心停止の場合、約3分で救命  
 できる可能性は約50%程度ま  
 で低下するのです。救急車が  
 到着するまでの5分間が傷病  
 者の生命を大きく左右するこ  
 とが分かります。

図1（救命の連鎖）

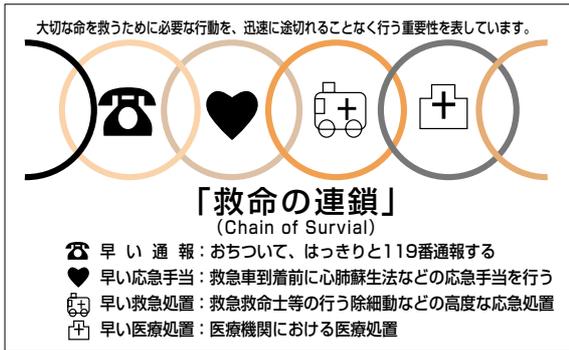
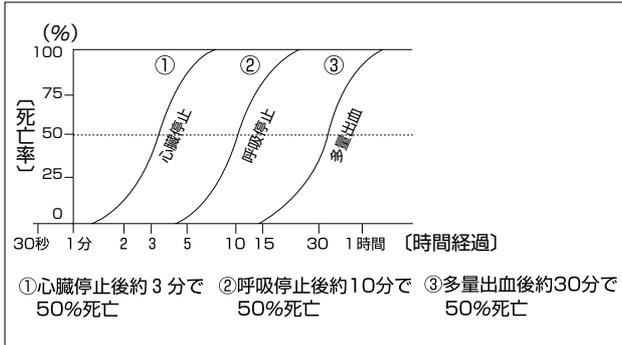


図2（M・カーラーの救命曲線）



## カメラレポート

伊予地区救助技術大会が伊予消防署にて実施されました。大会において松前消防署赤星副士長がロープ登はんの部で見事優勝し、8月6日に高知県で行われた四国地区大会に伊予地区代表として出場しました。ロープ登はんとは15mのロープを自分の腕力のみでいかに速く登るかを競う、いたってシンプルな競技です。体力だけではなく、精神力も必要とする過酷な競技です。



▲赤星選手



◀避難消火訓練

▶普通救命講習会



◀水上安全法指導会